

在宅ボックス滝沢の機能について

在宅医療介護連携コーディネート事業

平成26年10月8日

在宅ボックス滝沢準備室

加藤 忍

宮城 路子

竹花 さやか

在宅ボックス滝沢の主な機能

1. 在宅医療ネットワークの構築
2. 多職種連携を促進させるためのネットワークシステムの構築
3. ネットワークシステムの管理と運用
4. 急性期病院からの在宅患者の受け入れ・コーディネート
5. 事例検討や勉強会等の開催
6. 運営協議会の開催と運用

1. 在宅医療ネットワークの構築

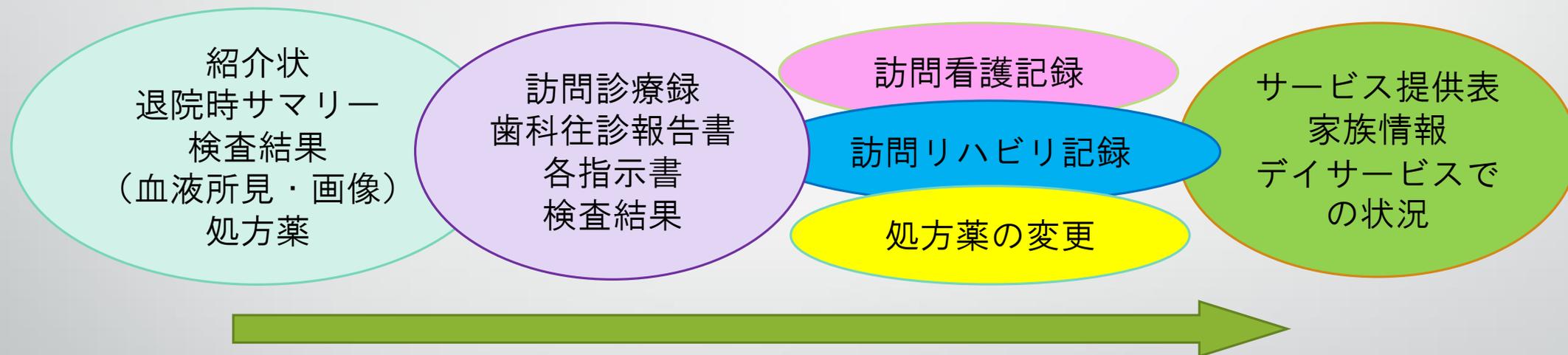
- 当番医制 → 滝沢市及び近隣市町の開業医でグループを構成し、休祭日の在宅当番医を設定する。

他の医療機関のカルテを見ることができない。

- 患者情報・診療情報のデータ化と管理
 - グループのDrが主治医となっている在宅患者様の必要情報を整理し、システムへ取り込み・管理する。
 - 往診時に、iPadやスマートフォン等の端末を持参し、患者情報・診療情報を閲覧し、診察・処置をする。

2. 多職種連携を促進させるためのネットワークシステムの構築と運用 その1

- 患者情報の共有



- 掲示板・・・勉強会のお知らせ等、周知事項の掲載。
- メール・・・時間帯に関係なく報告相談が可能。

2. 多職種連携を促進させるためのネットワークシステムの構築と運用 その2

- システムの導入以外に必要なこと
 - ・ 利用規約・利用申込書
 - ・ 患者及び家族からの利用同意書（個人情報同意書を含む）
 - ・ 相談窓口の設置

重要！！ 顔の見える関係づくり

3. ネットワークシステムの管理 (情報管理・利用に関する管理)

- 利用の申し込みや撤回届けの管理 (ID・パスワードの権限)
- システム内の情報管理
 - ・ 責任体制、管理方策を定めてマネジメントする。
 - ・ 共有情報の利用目的、項目、利用者、方法等の管理。
 - ・ 利用状況をモニタリングし、適正化を促す。
- 不具合の発生時の初期対応
- システムに関する苦情・相談等の窓口

4. 急性期病院からの在宅患者の受け入れ・ コーディネート

- コーディネートはCMを中心に進めてもらい、在宅ボックスはサポート的な役割を果たす。
- 在宅ボックスが介入することで・・・
 1. 急性期病院から在宅へ退院してくる前の段階で、各担当者が集まり会議を開催する。その時に紹介状や転棟・退院時サマリーの内容がシステムを通して周知されている。
 2. システムの利用により、多職種との連携がスムーズに図れる。
 3. 患者の臨床データを受け取り、活用しやすい情報として整理して伝達する。

5. 事例検討や勉強会の開催

- 多職種での勉強会：各々の業務内容を発表する場
連携への関わり方に関する意見交換
事例検討等
- 職種毎の勉強会
- 事例検討会： 包括支援センターとの合同開催

6. 運営協議会の開催と運営

- 滝沢市からの委託を受けての事業の為、地域包括支援センターとの共同で開催運営していく。
- 原則として、月1回の開催。（9月に1回目の準備会を開催）
- 協議会メンバー

岩手西北医師会会長 岩手八幡平歯科医師会副会長

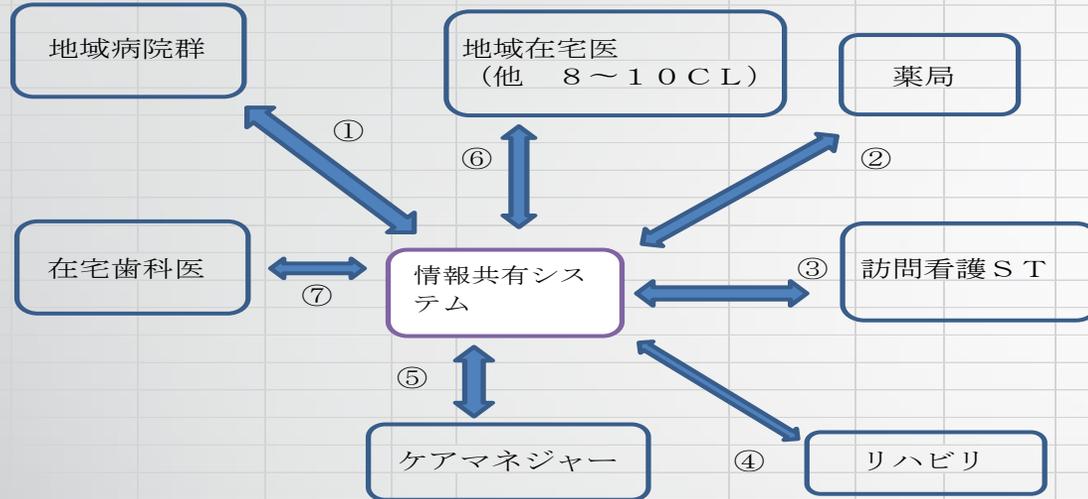
ケアマネ協議会理事・副会長 岩手県薬剤師会滝沢地区担当者

訪問看護協議会代表者

滝沢市地域包括支援センター職員 在宅ボックス滝沢スタッフ

アンケート実施中

在宅医療介護連携システムの主な機能について



☆欲しい情報・共有したい情報・こんなのがあれば便利と思う機能・・・等
または、在宅BOXへの要望・ご意見

あなたの職種は？

医師 ・ 薬剤師 ・ ケアマネジャー ・ 看護師 ・ リハビリ

必要度の欄に記入願います。

○：とても必要 △：あった方が良い ×：必要ない

	機能	共有情報	必要度
①	紹介。在宅医が主治医。 (主治医・副主治医制)	紹介状	
		サマリー	
		入院中の情報を共有	
②	薬剤情報の把握	検査結果	
		退院時処方	
		新規処方	
③	訪問看護の報告	変更時の薬剤情報	
		処方日数の情報	
		訪問記録	
		訪問看護計画書	
④	訪問リハビリの報告	訪問看護報告書	
		サービス実績表	
		リハビリ記録	
		訪問リハビリ計画書	
⑤	サービス提供内容の共有	訪問リハビリ報告書	
		サービス提供表	
		サービス担当者会議の要点	
⑥	訪診・往診・検査結果を共有	診察の経過記録	
		検査結果	
		処方薬	
		各指示書	
⑦	歯科往診	訪問リハビリ	
		訪問看護指示書・特別指示書	
		往診報告書	

	共通機能	
☆	メール機能	個別または、チーム内でメール可能。 セキュリティが守られている。
☆	掲示板	チーム内で共有しておきたい情報を掲載 できる。

滝沢・盛岡市内の事業所からの声 ケアマネジャー

- 訪問診療に限らず、外来通院している方々の情報も共有できると良い。
- 生活上・サービス提供上の留意点など載せてくれるとありがたい。
- 訪問リハでは指示書によって連携出来ていて、CMもそれを見るチャンスはあるが、指示書のないディサービス・通所リハでのリハビリで、留意点等を問われることが多くあり、医師に口頭で確認せねばならず、そのようなケースで便利に使えると良い。
- 薬の管理が出来ない方が多いので、一方化や日付の印字等相談したいことが多い。是非、薬局に参加してほしい。
- 主治医のご意見をお聞きしないといけないことが多いので、時間帯等を気にせず相談できる機能があると助かる。
- （連携システムを使うにあたって）なるべくお互いの時間や労力を省略できるような良い案を考えていただきたい。

滝沢・盛岡市内の事業所からの声 薬局

- Drのカルテの中身（診療録、検査結果、処方）が閲覧できれば、充分と考えている。
- 多くの薬局に参加してもらうことが大事で、処方情報の漏れがないような手段は、各薬局のレセプトコンピューターが連携のシステムに繋がれないとなると、お薬手帳の活用しかないと思う。
- 患者様が飲みやすい、または管理しやすいお薬の出し方を、ケアマネジャーや看護師のスタッフと情報交換できると良い。

滝沢・盛岡市内の事業所からの声 訪問看護師

- 皮膚科・眼科・耳鼻科の参加を是非お願いしたい。（薬剤情報が必要？）
- 受診できない人で、（特に皮膚科等）写真をメールで送り指示をもらえるようにしたい。
- 報告・連絡をメールですること、確認や返信があると便利。
- 滝沢市全体で支援していくのであれば、賛同する者だけでなく全体（全事業所？）が参加した方が良いように思う。
- 看護計画・報告書は、紙面での報告がいらないのであればOKだが、二重報告になる為、システムでの報告はいらないのでは？
- 個人情報がどのように扱われるのか？情報共有するにあたって、契約書類はどのようにするのか？

滝沢・盛岡市内の事業所からの声 訪問リハビリ

- 画像・動画にて情報共有が出来れば、早めの処置や介護方法の統一に結び付けられるのではないかと。
- デイサービス・ショートステイ利用時の状況が担当者会議の時しか情報が得られないことが多いです。
- ショートステイ利用後、歩けなくなるという利用者さんがいらっしゃいます。利用時の様子が見れたらいいです。
- 1人の利用者の経過が、一つの画面で見られると良い。
- 医療の方には今回のシステムは合っている印象を受けたが、介護保険の方にはどうだろう？という感じがした。
- 心配な点として、個人情報の取扱い。仕事量が増えること。
- 訪問診療のDr以外のDr・クリニックも参加した方がより良い連携が図れるのでは？

1. 平成 26 年度事業の目的

疾病や要介護状態にある高齢者が大きく増加することが予測されている。このような状況で、住み慣れた環境での療養を望んでいる方が多く、できる限りその地域で安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指す必要がある。そんな高齢者を支えていくためには、各々のかかりつけ医がその力を在宅医療の分野で十分に発揮することが重要であり、多くの医師の参画を得られるよう、面的な提供体制を整えることが地域の課題となっている。

さらに、在宅医療は医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ関係職種等多くの職種によって提供されるが、これに介護関係職種を加えた多職種による包括的なケアのための協働・連携の体制を整えることが求められている。

以上の 2 点の体制を整えることを目的とし、本事業を実施するものである。

2. 事業概要

(1) 開業医の在宅医療ネットワークの構築

- ・開業医の訪問診療グループを組み、休祭日の往診を当番制とする。
- ・患者情報の共有手段として、ICT を活用し連携を図る。

(2) 在宅医療介護連携コーディネート

- ・連携体制の構築及び支援を行う。
- ・多職種の連携を促進させるためのネットワークシステムの運営・管理。1 人の患者を担当するスタッフのチーム連携がスムーズに図れるよう、ICT の活用を進め、その運営管理にあたる。

(3) 事例検討や勉強会等の開催

- ・多職種または、職種毎での事例検討や勉強会を随時開催する。

(4) 運営協議会の設置と運営

① 目的

医療と介護の連携についての課題や問題点について明らかにし、協議する。

② メンバー

岩手西北医師会会長、岩手八幡平歯科医師会副会長、あおぞら薬局スタッフ、滝沢市地域包括支援センター職員、介護支援専門員協議会理事・副会長、訪問看護ステーション協議会代表、在宅ボックス滝沢スタッフ、その他関係者等

③ 会議開催回数

年 12 回程度